

子育て・子育て

相談室

子どもの鼻血

Q 子どもがよく鼻血を出します。園児の頃から、小学6年になっても続いているので心配です。

小児では鼻血がよく出ます。鼻の粘膜には細い血管がたくさんあり、ちょっとした鼻をいじったときや、風邪の鼻炎でも鼻血が出ることがあります。鼻の入り口から約1センチ奥の鼻中隔部にあるキーゼルバツハ部位から出血することが多いです。

注意して圧迫治療を

鼻血にびつくりして救急外来を受診しても、実際は緊急の処置をする必要は多くありません。ほとんどの場合、小

鼻を親指と人差し指でつまむ、または親指で出血側を圧迫する、綿球を出血部位に詰めることで止まります。指による圧迫治療の際に注意することは、鼻血を飲み込まないように下を向いて座って10〜15分ほど圧迫することです。飲み込むと血を吐いてしまいます。

鼻血を繰り返す場合は漢方薬を処方することもあります。

また、一般的にはなっていないませんが、親指にある鼻血のつぼを細い針で刺激する治療もあります。当院で多くの患者さんに試みたと



置をしても10〜15分以上続く、顔色が悪い、体のほかの部位にも皮下出血斑がある、抗凝固剤を内服している、出血しやすい家系である—などの場合です。

繰り返す鼻血の原因は心配のないことがほとんどですが、中には鼻腔内の腫瘍性疾患、血管線維腫、また血友病、血小板減少症、白血病などの血液の病気が潜んでいることもあります。

止まりにくい鼻血の場合は、血液の病気、出血性疾患を診断する必要があります。また耳鼻科専門医での血管収縮剤を染み込ませた綿球による圧迫療法や内視鏡検査が必要になります。

心配ないことほとんど血液の病気であることも

ころ、よく効きました。

救急受診の目安は

急いで受診すべき目安は、鼻血が圧迫や綿球詰めの場合、

心配な場合はかかりつけ医に相談してください。

(NPO法人ながのこども城理事 あらかわ子ども医院・新川一雄)

